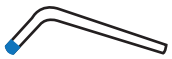
サイクルハウス SH-2 型

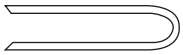
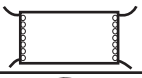
*裏面『安全上の注意』を先にお読みください

部材表

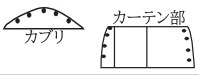
間口:約136cm
高さ:約168cm 入り口高さ(パイプまで):約148cm
奥行:約181cm

【2606】

No.	品名	数量	規格	形　状
①	ベース用前後パイプ	2	19×131TT cm	
②	ベース用横パイプ	4	19×87TT cm	
③	脚用パイプ	6	19×106TT cm	
④	横通し用パイプ	4	19×87TT cm	
⑤	アーチ用パイプ	6	19×97TT cm	
⑥	天井通し用パイプ	2	19×87TT cm	
⑦	パイプジョイント	4	3点90°	
⑧	パイプジョイント	6	T型	
⑨	パイプジョイント	2	十字	
⑩	パイプジョイント	2	3点155°	
⑪	パイプジョイント	1	4点155°	

No.	品名	数量	規格	形　状
⑫	絞りリング	4	19用	
⑬	ケーブルタイ	1	(60本入り)	
⑭	U 字杭	4	10mm×24cm	
⑮	レールパイプ	1	19×112cm	
⑯	天幕	1	約 幅 414cm 長さ209cm	
⑰	後幕	1		

同じ袋に入ってます。

⑱	前　幕	1		
⑲	S カ ン	8		
⑳	Sカン付きゴムロープ	1		
㉑	ニューダブルユニバーサル	2組	19×19	

※必要工具/軍手: ハンマー:カッター:マジック:ハサミ
プライヤー:スケール

※天・前・後幕のシートは張り替え用がありますので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

NAN-EI CORPORATION
製造発売元
南榮工業株式会社

南榮工業公式 HP　南榮工業公式 HP
南榮工業YouTube 南榮工業YouTube

保存版 平成30年8月改訂版

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。
固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。
置いただけの設置は絶対に行わないでください。
また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まってる場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。
このような場所には絶対に設置しないでください。

禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

禁止 換気に注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠注意

この項目は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害※3の発生が想定される内容」を示しています。
※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。
※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

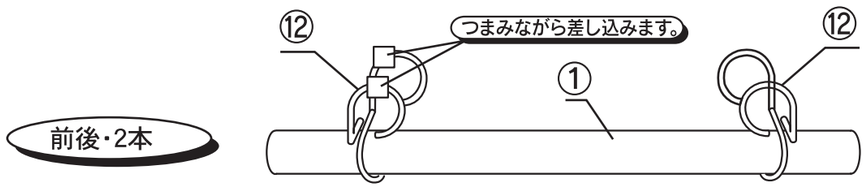
NAN-EI CORPORATION 南榮工業株式会社

サイクルハウス SH-2 型　組立説明書 【2606】

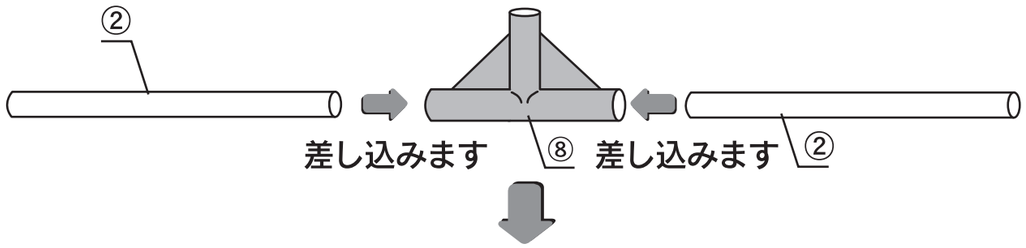
この度は、弊社製品のお買求めいただき、誠にありがとうございます。正しくご使用していただくことが、長持ちにつながりますので本製品を組立てる前に、部材表裏面『**安全上の注意**』を、必ず、お読みください。

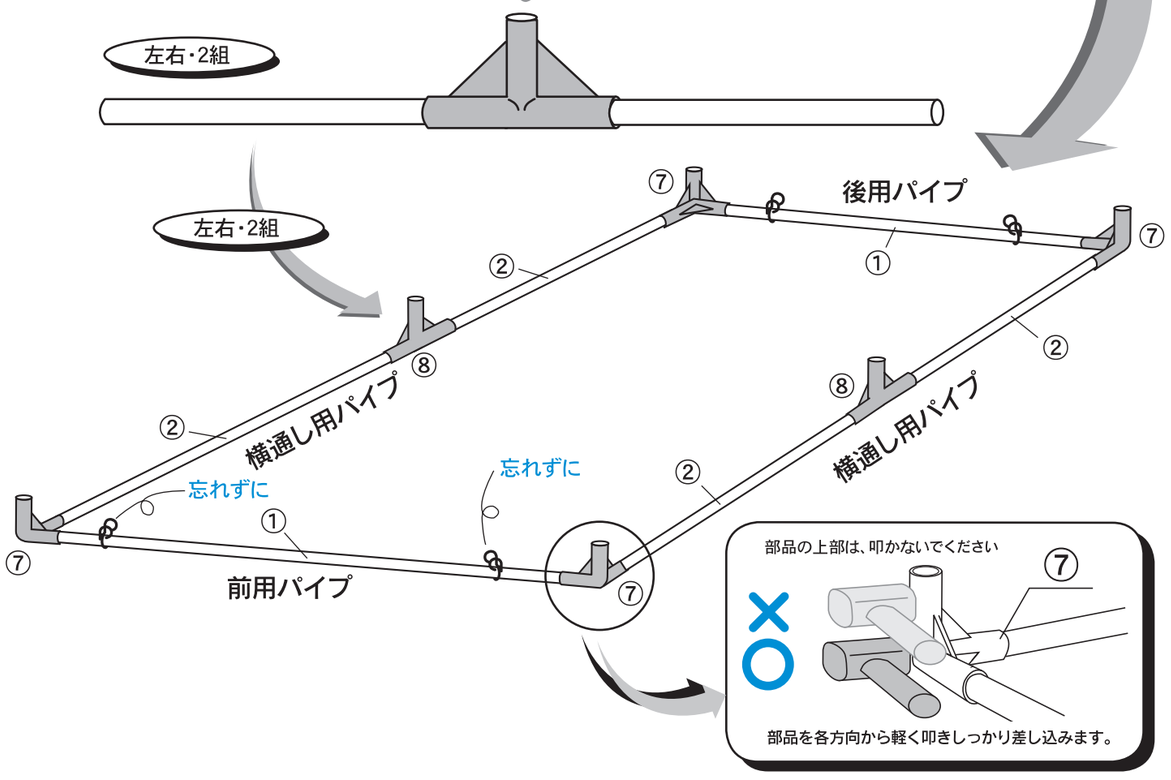
① ベース部分を組みます。

ベース用前後パイプ①に絞りリング⑫をつまみながら差し込みます

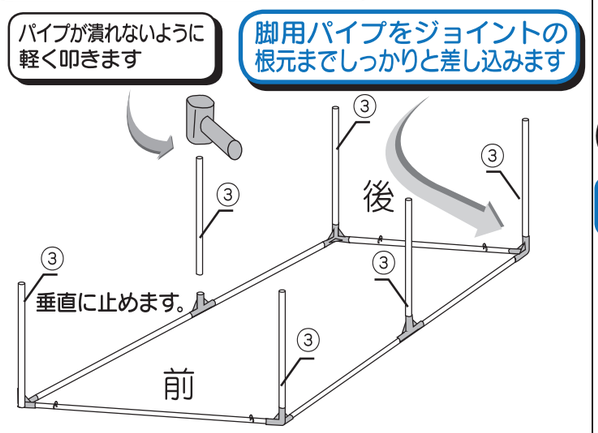


ベース用横パイプ②をパイプジョイント⑧に差し込みます

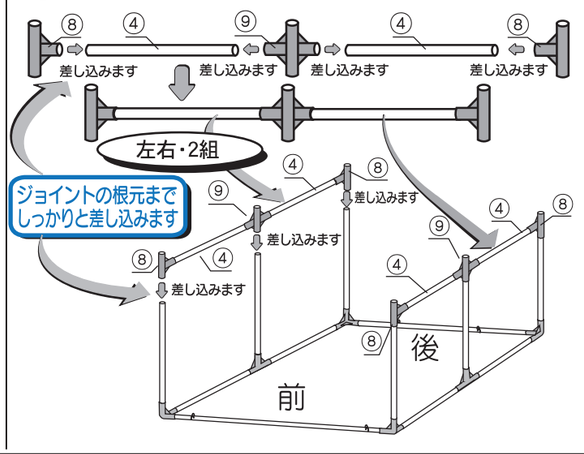




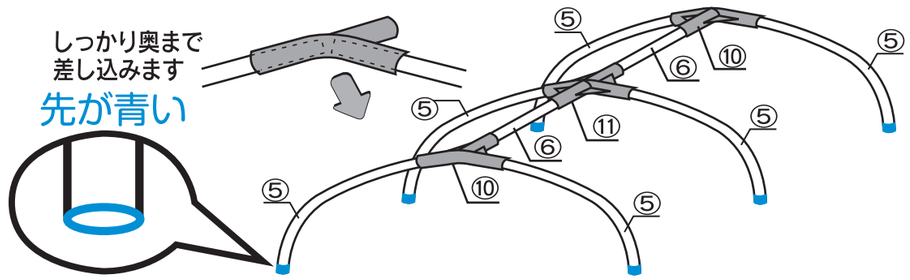
② 脚用パイプを差し込みます。



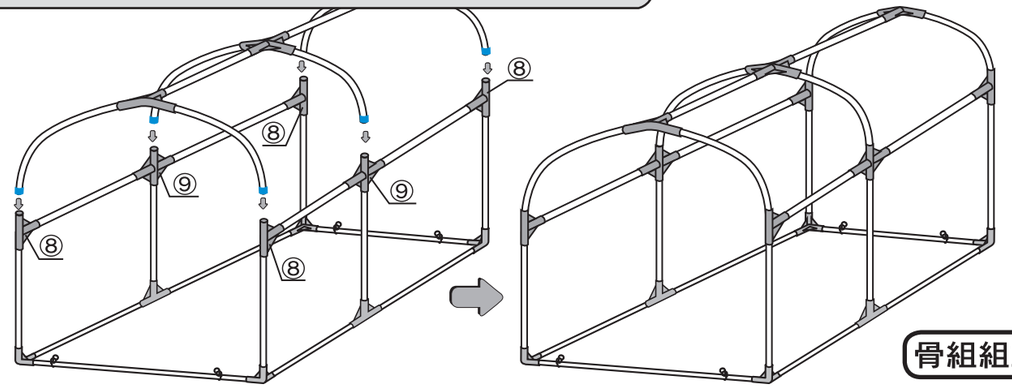
③ 横通し用パイプを継ぎ、脚用パイプに差し込みます。



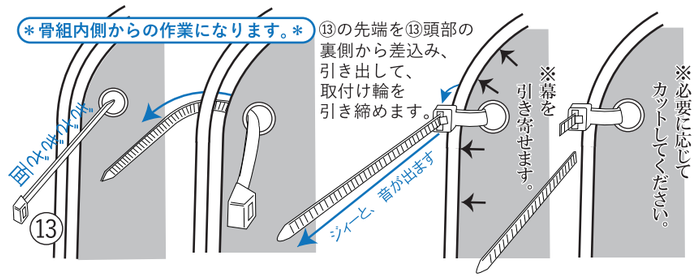
④ アーチ用パイプ・天井通し用パイプをパイプジョイント⑩・⑪に差し込み天井部を組立てます。



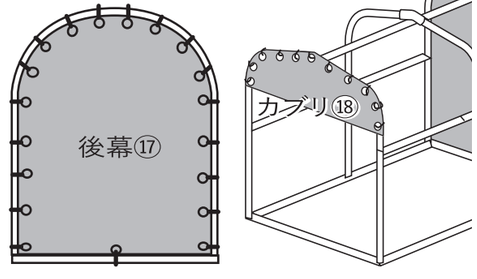
⑤ 天井部をパイプジョイント⑧・⑨に差し込み組立てます。



⑥ 後幕⑰と　前幕カブリ部⑱を　⑬で取付けます。



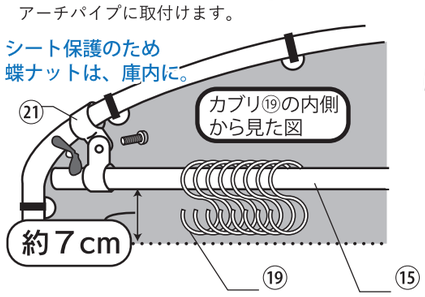
【注】カッター等をご使用の際は、お怪我をされないようお気をつけください。又、シートを傷つけたり、切らないようにお気をつけください。

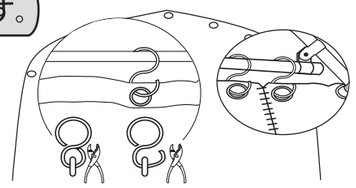


7 前幕カーテン部⑱を設置します。

レールパイプ⑮に⑲を通し、カブリの下部より
約７cm上の位置に　⑮の両端を㉑で
アーチパイプに取付けます。

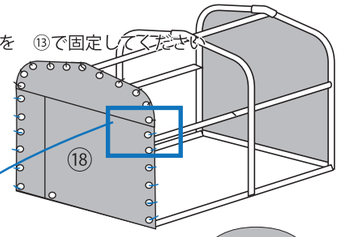
シート保護のため
蝶ナットは、庫内に。





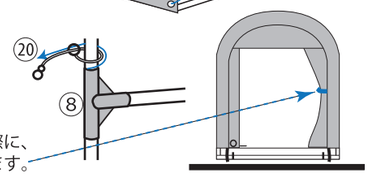
・Ｓカン⑲を、プライヤーなどで広げ、
⑱のハトメに通した後、広げを閉めて
幕を外れにくくします。

・⑱の左右を　⑬で固定してください。

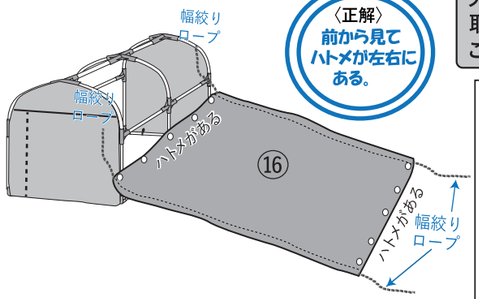


・正面から見て　右側の⑧
の上のアーチパイプに
⑳を取付けてください。

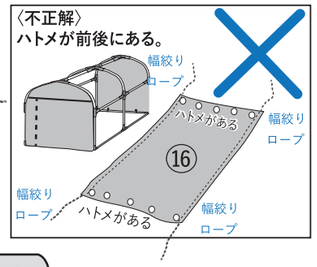
※カーテン幕を開いた際に、
まとめ止め用に使えます。

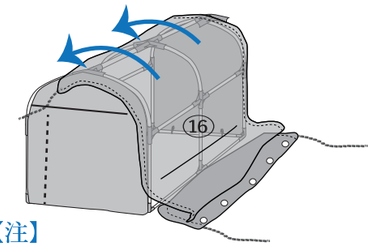


8 天幕⑯を広げ、向きを確認して骨組に被せます。



**天幕は正しい方向に展開しないと
取付けることができませんので
ご注意ください**



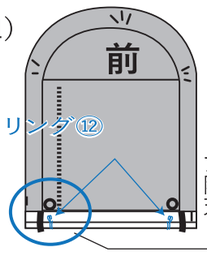


【注】

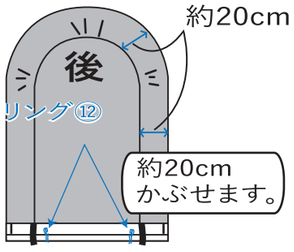
○周辺を整理して、シートにキズなどがつかないようご準備ください。
○シートを引きずらないようお気をつけください。
○風の強いときは作業には適しておりません。

9 天幕⑯の位置を調整し、仮止めします。

(1)



(2)

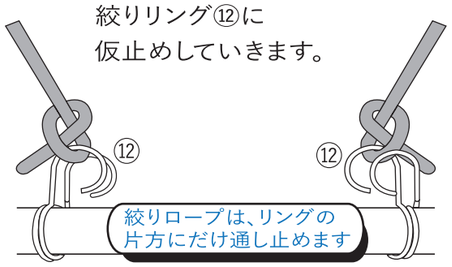


＊絞りリングの位置は、天幕の端に合わせて調整してください。＊

※前方の絞りリングの間隔は、
広くなります。

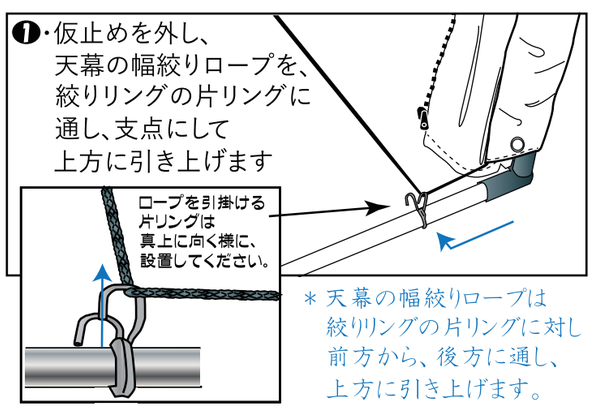
※後方の絞りリングの間隔は、
狭くなります。

(3) 天幕の幅絞りロープを、
前後ベース部に取付けている
絞りリング⑫に
仮止めしていきます。



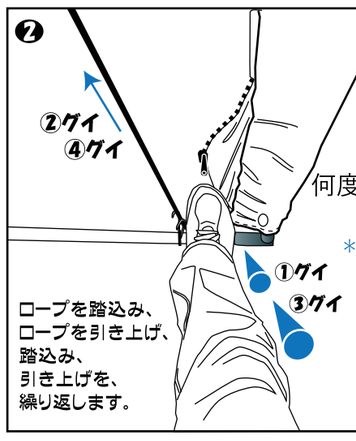
10 天幕⑯を、固定していきます。

❶・仮止めを外し、
天幕の幅絞りロープを、
絞りリングの片リングに
通し、支点にして
上方に引き上げます



＊天幕の幅絞りロープは
絞りリングの片リングに対し
前方から、後方に通し、
上方に引き上げます。

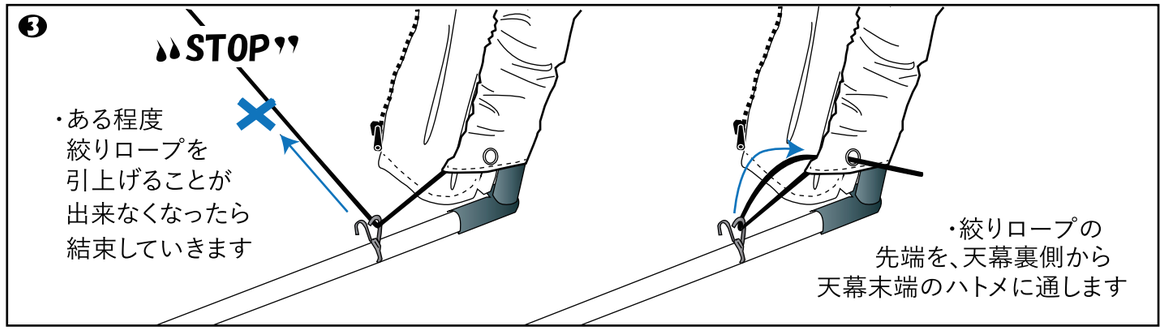
❷



・絞りロープを
引上げながら
絞りリングと天幕の
中間部のロープを
何度か踏込んでいきます

＊この作業で天幕全体
に、ゆるみがなくなり、
張りを持たせて
綺麗に、しっかりと
天幕を取付ける事が
出来ます。

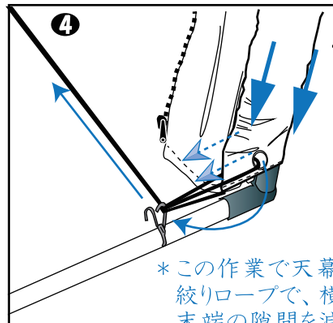
❸



・ある程度
絞りロープを
引上げることが
出来なくなったら
結束していきます

・絞りロープの
先端を、天幕裏側から
天幕末端のハトメに通します

❹



・ハトメに通した
絞りロープを
もう一度、
絞りリングの片リング
に通し、最後の
引き締めを行います

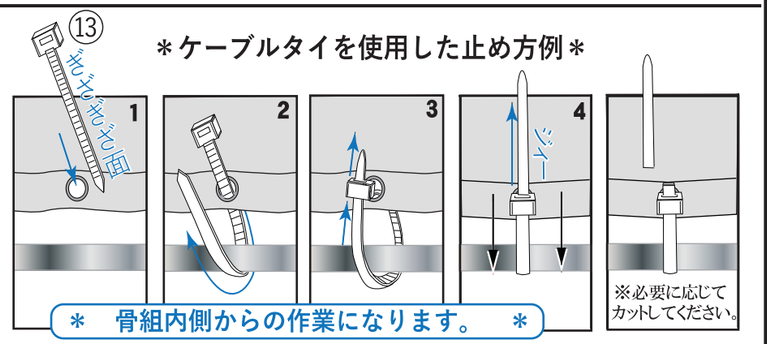
＊この作業で天幕下部末端を引き下げ、
絞りロープで、横に引っ張ることで
末端の隙間を減らし、幕をさらに綺麗に張れます。

・引き上げた絞りロープを、天幕～
ハトメと往復したロープ部に巻付け
て固めます。
最後に、結び止めます。

10 天幕⑯の左右のハトメを　⑬で
ベース部と結び付けます。

※ベースパイプ下にハンマー等を敷くと、
スペース(空間)が取れ作業がしやすいです

＊ケーブルタイを使用した止め方例＊

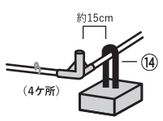


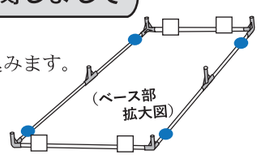
＊　骨組内側からの作業になります。　＊

1. 本体骨組の内側から、⑬を幕のハトメに通します。
2. 3. ベースパイプを抱き込んだ後、⑬の先端を、⑬の頭部裏に差込みます。
4. ⑬の先端を引き上げ、 幕をパイプに引き寄せると、 幕全体に張りがでます。

11 本体の固定と、取扱いに関しまして

○設置場所が、土の場合は、
Ｕ字杭⑭(４本)を ●の所に打ち込みます。





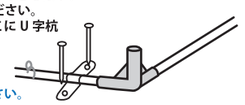
○必要に応じて
Ｕ字杭の下部を、コンクリートなどで
補強してください。

【注】Ｕ字杭⑭の打ち込み作業の際は、 十分にご注意ください。

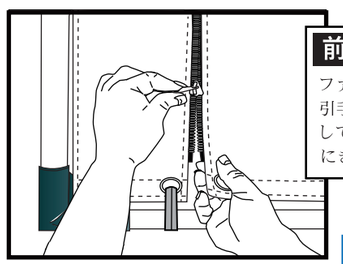
【注】設置場所が、コンクリートやアスファルトの場合などは、市販されている
19φ用サドルバンドを　□　の位置でベースパイプに跨がせ、コンクリート釘
を打ち込み、固定してください。

※コンクリート釘を　打ち込む際は　保護メガネをご使用ください。

※思わぬ突風等による災害を回避する為にも、できる限り、
Ｕ字杭⑭の打ち込みによる固定を行ってください。
その際は、電動工具などで下穴を空け、そこにＵ字杭
を打ち込んでください。



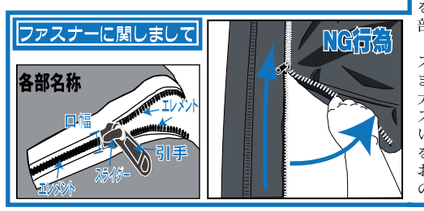
別途、お求めください。
サドルバンド・コンクリート釘　（４ケ所）



前幕開閉時の取扱い

ファスナーを開ける際は、
引手を持ち，スライダーを動か
してください。片手は片幕を
にぎり、操作してください。

ファスナーに関しまして



幕生地を持ち、引っ張る感じで幕をひろげて、スライダーを移動させると、スライダー部に大きな負担をあたえます。

スライダーは金属部品でありますが、スライダー横部分に大きな負担がかかり、結果、スライダーの口幅が広がっていき、エレメントを閉じる力を失います。また、分解するおそれもありますので、左図の行為は行わないでください。